

## 令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立花保中学校 校長 村田 雅也

## 1 学校教育目標

自ら学び向上しあう生徒  
心豊かで協力し合う生徒  
健やかでたくましい生徒

## 2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

「積極的に本に親しみ、問題を解決するための読解力を育てる図書館」

【読書センター】読書活動を通して言語に対する理解を深め、豊かな感性と想像力の育成を図る。

【学習センター】調べ学習を通して問題解決能力の育成を図る。

【情報センター】必要な情報を取捨選択し、効果的に用いることができる生徒の育成を図る。

## 3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 7957 冊（蔵書基準冊数 7920 冊）／蔵書率 100.4%（前年度末 109%）										
	② 新規購入図書 348 冊／廃棄図書 442 冊／増減冊数－94 冊										
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類	
蔵書構成割合	3%	3%	13%	13%	13%	13%	10%	10%	10%	10%	33%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%	
利活用の状況	① 開館時間：昼休み20分、放課後45分（前年度からの変更 なし）										
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 6.74 冊（前年度：6.67 冊）										
	③ 学校図書館利用率 1450 %（前年度：1453 %）										

## （令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 8417 冊（蔵書基準冊数 7920 冊）／蔵書率 106 %										
	② 新規購入図書 460 冊／廃棄図書 0 冊／増減冊数 460 冊										
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類	
蔵書構成割合	2.6	2.6	13.6	9.8	10.0	5.4	2.8	12.9	4.2	36.1	
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%	
利活用の状況	① 開館時間：昼休み20分 放課後90分 計1時間50分（前年度からの変更 なし）										
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 7.90 冊（前年度末：6.74 冊）										
	③ 学校図書館利用率 1,849 %（前年度末：1,450 %）										

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 図書館の利用方法を知る。 ② 目的に応じて読書活動、調べ学習を行う。 ③ 具体的な取り組みとして図書館オリエンテーションを行う。	
今年度の成果目標	校外学習に際し図書館資料を用いて調べ学習を行い、調べたことをまとめ、表現することができる	達成基準 ① 図書館オリエンテーションの実施。 ② 図書館を使った調べ学習の実施。
目標達成状況	授業時間中に1年生全員にオリエンテーションを実施することができた。	

<b>第2学年</b>	① 自分に必要な情報を取捨選択し、学習に活用する。 ② 計画的に図書館を利用し、主体的に読書活動を行うことができる。 ③ 具体的な取り組みとして図書館オリエンテーションを行う。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
鎌倉校外学習の事前学習として、必要な情報を図書室の資料から選択し、調べたことをまとめる事ができる。	鎌倉についてテーマを決め、まとめた事を他者に分かり易く表現することができる。
<b>目標達成状況</b>	
① 鎌倉について学習した内容を新聞形式にまとめ、学習展示会で発表することができた。 ② 授業時間中に2年生全員にオリエンテーションを実施することができた。	
<b>第3学年</b>	① 収集した情報をまとめ、分かりやすく表現することができる。 ② 授業内だけでなく、日常的に積極的な読書活動を行い、豊かな感性を育むことができる。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
中学校卒業後の進路などについて、自らの問題や疑問に対して、積極的に調べ、解決することができる。また、それらの活動をまとめ、他者に分かりやすく効果的に伝えることができる。	志望校や入学試験に関する情報を図書館で調べまとめることができる。
<b>目標達成状況</b>	
① 「図書館を利用した調べる学習コンクール」に応募、出品することができた。 ② 志望校に関する情報をまとめ、学習展示会で発表することができた。	

## 5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<b>【蔵書・配架等に関すること】</b> ・調べ学習用図書を充実させるため、蔵書配分が国基準に近づく様、計画収集に努める。 ・古い図書の廃棄を進め、配架をNDCに沿って行い、生徒が利用しやすい図書館を目指す。	来年度クラスが1増加する見通しとなり、蔵書率100%を維持するため今年度は廃棄を見合わせた。閉架書庫を活用して整理に努め昨年と同程度利用しやすい配架ができた。
<b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b> 各教科、総合的な学習の時間の指導計画に学校図書館の活用を入れ、情報を共有する。教諭が学び方を指導し、支援員が資料を提供することで生徒の学習の手助けをする。	図書館を利用した調べ学習の際、生徒各自の要望に応じたりファレンスを行うことができた。
<b>【その他】</b> 指導計画に合わせ情報を共有し、学校図書館で不足している資料は公共図書館の貸し出しサービスを利用する。	近隣の保塚図書館から「調べ学習用団体貸出し」の協力を受け、生徒の利用に供した。

## 6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

教諭と学校図書館支援員が協力して授業時間中に各学年で図書館オリエンテーションを実施することができた。また、学校行事として「ビブリオバトル」、図書館のイベントとして「ブックラリー」「読書クイズ」を行い読書活動の推進に努めた。その成果として「貸出返却利用数」「利用人数」「貸出冊数」が昨年度に比べ3割以上増加した。今後も生徒に読書の魅力を伝えられる図書館でありたい。

## 7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）